

2024 年 9 月幹事会 企画幹事資料

1. 次期幹事

名簿に従い、アプローチを開始した。状況は下記のとおり。

内諾済み： マルホ株式会社，株式会社富士薬品，持田製薬株式会社，サターラ合同会社

延期希望： Meiji Seika ファルマ株式会社（社内事情により 1 年）

ご辞退： 富士通株式会社

2. 2024/2025 年度 例会の準備状況

① 2025 年 1 月例会

開催日：2025 年 1 月 31 日（金）午後

場所：東京ガーデンパレスホテル

講演	演題・所属・氏名	備考
一般公演	1) 45min：「エステル型プロドラッグの加水分解におけるα1-酸性糖タンパク質（AGP）の関与と種差に関する研究－AGP によるエステラーゼ様活性－」	済 演題
	小野薬品工業株式会社 河野 健太 先生	済 演者
		未 ご略歴
	2) 45min：「原発性腋窩多汗症治療剤エクロックゲル 5%の薬物動態」	済 演題
	科研製薬 TBD 先生	未 演者
		未 ご略歴
特別講演	15:15～16:15	未 演題
	「TBD」	未 演者
	TBD TBD 先生	未 ご略歴
司会	MSD 株式会社	

特別講演での候補：城西大学 藤堂浩明先生（トピック案：経皮吸収改善，ナノ粒子による DDS 戦略，3D モデルでの有用性，中高分子の経皮吸収改善），金沢大学 深見達基先生（トピック案：加水分解酵素）

② 2025 年 4 月例会

開催日：2025 年 4 月 18 日（金）午後

場所：千里ライフサイエンスセンター

一般講演（コンタクト前）：キッセイ薬品工業株式会社，杏林製薬株式会社

### 3. 2024 年度 第 47 年会の準備状況

#### ① 開催概要

開催日： 2024 年 11 月 14 日（木）～ 15 日（金）

場所： オークラクトシティホテル浜松

事務局： 岸本・伴野（日本ベーリンガー）、岩佐・松田（MSD）、小森・永易 常任幹事

#### ② 準備状況

- 会場：平安 I・II を予約済み（昨年と同一，Web 講演含む）
- 予算：（別紙（1）参照）

	2024 年（案）	2023 年
支出	約 459 万円	456.7 万円
収入	約 231 万円 (一般会員 60 名を含む計 100 名)	271.3 万円 (合計約 120 名)
談話会負担	約 228 万円	168.1 万円

- 講演要旨集：作成中，参加者に HP よりダウンロード形式で配布予定

#### ③ プログラム&Flyer 案

- 最終案完成（演者・ご講演タイトルは確定済み）
- 座長は最終案をご承諾済み（未定：意見交換会）
- パネルディスカッションは本年は実施せず，一方で各ご講演時間を 5～10 分長めに設定しセッション内で議論いただく予定
- 今後の予定
  - ◇ 10 月頭：会員企業へ申し込み案内予定（カバーレター，プログラム，Flyer）
  - ◇ 10 月中旬：要旨集完成
  - ◇ 10 月下旬：動線リスト作成，講演者・座長への最終確認
  - ◇ 年内：収支報告（w/会計幹事）と反省点のとりまとめ

#### ④ 企業展示ブース内諾済み企業（最大 5 ブース，計 2.5 時間の休憩時間＋企業紹介）

- 株式会社フェニックスバイオ
- 日本ウォーターズ株式会社
- ミメクスジャパン株式会社


#### ⑤ 会期中の幹事会

- 年会 2 日目の朝 8:00～9:30 の間で調整中

別紙（１）収支計画

支出				収入		
施設・サービス	Day1	平安 I/II 室料（▲60%）	¥320,000	参加費（@¥35k）	一般会員 60 名	¥2,100,000
		音響・映像費	¥143,000	参加費（@¥35k）	幹事会 6 名	¥210,000
		飲食費	¥108,000			
		幹事控室（▲100%）	¥0			
		懇親会室料（▲70%）	¥98,000			
		音響・映像費	¥134,000			
		料理(100 名)・ドリンク(120 名)	¥1,005,000			
	Day2	平安 I/II 室料（▲60%）	¥448,000			
		音響・映像費	¥181,500			
		有線回線（▲100%）	¥0			
		飲食等	¥361,400			
		幹事控室（▲100%）	¥0			
		幹事会室料（▲70%）	¥12,000			
		幹事会飲食費	¥86,500			
	小計	¥2,888,385				
謝金		演者	¥230,000			
		座長	¥50,000			
交通費補助		(概算)	¥200,000			
宿泊費		S 朝食 (¥12.4k, 60 名)	¥744,000			
		S (¥10k, 20 名)	¥200,000			
		T 朝食 (¥14.4k, 16 名)	¥230,400			
		T (¥12k, 3 名)	¥36,000			
合計			¥4,587,800	合計		¥2,310,000

別紙（２）プログラム

 薬物動態談話会 第 47 年会	
薬物動態の複雑性の解明 － 個体差から革新的な治療法へ －	
1 日目：2024 年 11 月 14 日（木） 14:00～19:00	
14:00～14:05	開会挨拶
14:05～14:20	会長挨拶
	薬物動態談話会会長 金沢大学 玉井 郁巳
14:20～14:45	Showcase（シンポジウム 1）
14:45～15:00	休憩
シンポジウム 1：サイトーシスと中高分子薬の膜輸送	
	座長：井上 勝央（東京薬科大学） 尾関 和久（中外製薬）
15:00～15:50	【基調講演】ペプチド・タンパク質の細胞内送達とその送達様式 京都大学 二木 史郎
15:50～16:25	化学合成ペプチド医薬品の非臨床安全性評価の考え方 医薬品医療機器総合機構 直田 みさき
	座長：尾関 和久（中外製薬） 近藤 昌夫（大阪大学）
16:25～17:00	血液脳関門技術を用いた希少疾患治療薬の開発 JCRファーマ 薮田 啓之
17:00～17:20	休憩
	座長：近藤 昌夫（大阪大学） 小森 高文 先生（エーザイ）
17:20～17:55	環状ペプチドの膜透過性研究と経口吸収予測 塩野義製薬 渡邊 郁剛
17:55～18:30	抗体薬物複合体の薬効発現におけるリソソームトランスポーターの役割 東京薬科大学 井上 勝央
18:30～19:00	事務連絡、意見交換会会場への移動
19:00～21:00	Showcase（シンポジウム 2）、企業展示紹介、意見交換会 （会場：3F チェルシー）
1 日目司会進行：岸本 航，伴野 拓巳（企画幹事 日本 ベーリンガーインゲルハイム）	

2 日目：2022 年 11 月 17 日（金） 9:30～16:30	
会長講演	
9:30～10:10	座長：永易 美穂（中外製薬） 新規肝細胞培養法 iC <sub>Hep</sub> を用いた胆汁中排泄解析法の提唱 金沢大学 玉井 郁巳
特別講演	
10:15～11:15	座長：杉山 雄一（城西国際大学） Interindividual variability in drug metabolism and disposition: Implications, approaches and applications Washington State University, Bhagwat Prasad
11:15～11:35	休憩
シンポジウム 2：Special populationにおける動態予測	
	座長：上村 尚人（大分大学） 三好 聡（ファイザー R&D）
11:35～12:25	【基調講演】患者集団における個人差と亜集団を評価する方法論：母集団薬物動態解析を中心に 慶應義塾大学 谷川原 祐介
12:25～13:35	昼食
	座長：上村 尚人（大分大学） 千葉 康司（横浜薬科大学）
13:35～14:10	肝障害患者の薬物投与設計の難しさ 東京大学 大野 能之
14:10～14:45	腎障害時における薬物動態変動の予測 -インタクトネフロン仮説の導入の必要性- 中外製薬 浅野 聡志
14:45～15:10	休憩
	座長：高江 聖詞（アステラス製薬） 三好 聡（ファイザー R&D）
15:10～15:45	近年の小児医薬品承認品目における外挿戦略・既存データの利活用事例 日本製薬工業協会 辻本 景英
15:45～16:20	個人差決定要因の分離と投与最適化の予測 千葉大学 佐藤 洋美
16:20～16:30	事務連絡
2 日目司会進行：岩佐 隆史，松田 和樹（企画副幹事；MSD）	

別紙（2）Flyer



## 薬物動態談話会 第47年会

2024年11月14日（木）～15日（金）

薬物動態の複雑性の解明：個体差から革新的な治療法へ

**特別講演** Interindividual variability in drug metabolism and disposition: Implications, approaches and applications  
Washington State Univ., Bhagwat Prasad

**会長講演** 新規肝細胞培養法icHepを用いた胆汁中排泄解析法の提唱  
金沢大学 玉井 郁巳

**シンポジウム1：サイトーシスと中高分子薬の膜輸送**  
基調講演 ペプチド・タンパク質の細胞内送達とその送達様式  
京都大学 二木 史郎

一般講演 化学合成ペプチド医薬品の非臨床安全性評価の考え方  
医薬品医療機器総合機構 直田 みさき

一般講演 血液脳関門技術を用いた希少疾患治療薬の開発  
JCRファーマ株式会社 園田 啓之

一般講演 環状ペプチドの膜透過性研究と経口吸収予測  
塩野義製薬株式会社 渡邊 郁剛

一般講演 抗体薬物複合体の薬効発現におけるリソソームトランスポーターの役割  
東京薬科大学 井上 勝央

**シンポジウム2：Special populationでの動態予測**  
基調講演 患者集団における個人差と亜集団を評価する方法論：母集団薬物動態解析を中心に  
慶應義塾大学 谷川原 祐介

一般講演 肝障害患者の薬物投与設計の難しさ  
東京大学 大野 能之

一般講演 腎障害時における薬物動態変動の予測 -インタクトネフロン仮説の導入の必要性-  
中外製薬株式会社 浅野 聡志

一般講演 近年の小児医薬品承認品目における外挿戦略・既存データの利活用事例  
日本製薬工業協会 辻本 景英

一般講演 個人差決定要因の分離と投与最適化の予測  
千葉大学 佐藤 洋美

**意見交換会（11月14日）**

**参加費：35,000円（宿泊費込、会員会社限定）**  
初日のみ参加（12,000円）、2日目のみ参加（13,000円）も可

**会場：オークラアクティシティホテル浜松**  
JR浜松駅メイワン改札口東口より徒歩3分（Tel. 053-459-0111）

薬物動態談話会HP、会員専用サイトで受付予定：  
<http://danwakai.jp/> 年間予定より

連絡先：薬物動態談話会 企画幹事（日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社）  
([DEVNCE@boehringer-ingelheim.com](mailto:DEVNCE@boehringer-ingelheim.com))  
([boehringer-ingelheim.com](http://boehringer-ingelheim.com))

